

よなばる

No. **125**号

令和2年3月1日発行

あなたと
町政を結ぶ

議会だより

桜のつぼみの開花を楽しむ3月

〜与那原に植樹されている大漁桜〜

（撮影・広報委員 宮平正博）

令和元年 第4回定例会	2P
与那原小6年生が議長に質問	3P
一般質問	4P～15P
与那原町議会だより奨励賞受賞	16P
その他・編集後記	16P

12月定例会 12月9日開催

12月定例会は12月9日(月)～12月13日(金)までの5日間の会期で開催しました。その中で議案15件、陳情2件、委員会提出議案1件が審議され、全て可決(陳情については採択または趣旨採択)した。

※議案名、賛否一覧等については、議会HPをご覧ください。
(<http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/gikai/index.html>)

**継続審査となった議案
「与那原町森林環境譲与税条例」**

前回の議会だより(124号)の9月議会で継続審査となった「与那原町森林環境譲与税条例」が、本定例会において可決された。当初は活用方法が十分に精査されていなかったことが理由となっていた。本定例会中に所管している建設文教常任委員会が再度担当課からの説明を受けた後に、本会議にて採択をした。



森林環境譲与税工程表(案)

【実施内容】

森林環境譲与税を活用し運玉森周辺の整備を行う。運玉森「平和学習広場」整備事業(一括交付金)終了後の令和4年度から整備を予定。

【工程表】

	年月	実施内容	備考
森林環境譲与税	令和元年度 ～令和2年度	① 土地所有者から植栽に係る施工の承諾を得る	
	令和3年度	① 植栽場所の磁気探査	県補助金有 (補助率100%)
	令和4年度	① 植林区域の古木の伐採 ② 運玉森周辺の植栽 ③ 植栽の管理 (雑草木の除去及び施肥等)	

【予定額】

予定面積 8,500㎡(2,570坪)
見積額 18,000,000円 ※樹種及び運玉森「平和学習広場」整備箇所が確定後、金額の変動有り。
管理費 800,000円/年

【積立額】

(単位/円)

交付額	710,000			1,065,000	1,953,000
年度	R1	R2	R3	R4	R14
積立金(累計)	710,000	1,420,000	2,130,000	3,195,000	19,173,000

与那原小学校6年生が議事堂見学!!

行った1月28・29日に与那原小学校6年生の皆さんが、与那原町議会議事堂を見学のため来庁がありました。その際、生徒一人ひとりの疑問・質問・要望を受け町議会代表として識名盛紀議長が回答しました。議事堂内で質問する未来の与那原町を担う生徒たちは真剣な眼差しでした。

● 生徒の疑問&質問に議長が回答

※一部抜粋

Q1 議会は何日間開かれているのですか。

A 定例会としては3月(約24日間)、6月(約5日間)、9月(約24日間)、12月(約5日間)で開催されており、緊急で必要な議題については臨時議会が数回開催されます。

Q2 議員さんは普段どのような仕事をしているのですか。

A 議会以外でも地域住民と意見交換をしたり、自営業や民間企業で働いている議員さんもいます。

Q3 町民からの願いを聞くためにどのような活動をしているのですか。

A 年に一回、町民向けに議会との意見交換会を開催している。またそれ以外でも、各議員は町民から積極的に相談などを受けている。

Q4 話し合いが解決しないときはどうしているのですか。

A 基本的には解決するまで話し合いはしますが、どうしても意見が合わなかった際は多数決で決めます。

Q5 町議員にはいくつからなれるのか。(被選挙権は何歳から)

A 25歳以上であれば、議員の候補者になることができます。

Q6 一番優先されている計画はなんですか。

A 与那原町5次総合計画というものです。与那原町が今後より良い町になるためのとっても大事な計画です。

Q7 議員さんの仕事内容は議論する以外に何がありますか。

A 町民からの相談事を受けたり、地域のイベント等に参加して町民と交流したりしています。

Q8 議決されなかった計画案はどうなるのですか。

A 町長が計画を見直して、議会へ再度提案するために審査します。

Q9 税金の使い道はどのように、誰が決められているのですか。

A 町長が使い道を提案し、議員さんが審査したうえで決めています。

Q10 与那原町は、なぜ「福祉」に一番税金を使っているのですか。

A 与那原町の子どもからお年寄りまでが住みやすい町にするため、福祉に関することに税金が使われています。



● 生徒からの要望

- 与那原町のトイレをきれいにしてほしい。
- 机や椅子を持ちあがりしてほしい。
- 公園や街灯、歩道の整備をしてほしい。
- 公園の遊具を増やしてほしい。
- 野営プールや町営体育館を増やしてほしい。
- 与那原大綱曳の会場は大きな場所で開催してほしい。そうすればもっと人が集まると思います。
- 津波防止の壁をもっと高くしてほしい。
- 公園の整備をみんなでやるように呼び掛けるポスターをつくってほしい。

首里城再建、県民の心をひとつに!



質問 首里城再建に向けて沖縄県民、日本全国、世界中から支援の輪が広がっている。町長も再建に向けて「何でもやる、必ずや復元しよう」と職員も町民からも声が上がっているが、改めて首里城焼失について今の思いを伺いたい。

照屋町長 沖縄全県民は今、喪失感で大変な思いをしている。首里城の瓦は全て与那原で作ったもの、町民の誇りである。与那原町の赤瓦組合も再建に向けて熱い決意を述べており、再建に向けて我々も町民挙げて、できることは一生懸命に取り組んでいきたいと考えている。町としては、既に募金箱を設置しており、町村会として、どのような取り組み

みをするか、再建に向けてこれから議論していく。

火災で焼失した首里城の再建を瓦の生産地与那原町独自の取り組みを。



子育て支援環境づくり、待機児童の現状と考えは!

質問 町内には公立、私立、認可外保育園、小規模保育園、学童

等全体でどのような状況なのか、そして待機児童の現状を伺いたい。

伊集子育て支援課長 保育所は法人保育所が9カ所、小規模が4カ所、家庭的保育が2カ所の計15カ所で、認可外保育所が1カ所、入所児童数は認可園に10月現在926人、学童は認可施設が8施設、認可外施設が2施設の計10施設で、利用児童数は336人、待機児童数、保育所は10月現在131人、学童クラブが11人、県では施設不足、保育士不足で待機児童は解消が困難となっているが、与那原町は各保育施設で分担、定員を拡大する議論をして、保育士確保は今



待機児童

後も議論が必要な課題になると認識している。

東部環境美化センターの現状と新炉建設の進捗状況は!

質問 新炉建設について、ごみ処理施設と最終処分場の建設地を八重瀬町具志頭地区に決定したその経緯と、新炉建設についての辺まで進められているのか。

比嘉生活環境安全課長 平成30年4月に候補地選定に関する事務の検討を南部広域行政組合、新炉建設で開始して、7月には最終処分場を建設している南城市を除く5市町、糸満市、豊見城市、八重瀬町、与那原町、西原町へ誘致を募ったが、受け入れる自治体がなく、令和元年6月に八重瀬町からごみ処理施設及び最終処分場の両施設を具志頭地区へ推薦したとの提案があり、8月に担当課長会議、副町長会議、理事会で建設地を具志頭地区に決定した。

組踊上演300周年に宮城能鳳さん国の文化功労賞に選出!!

— 町としての誇り、功績をたたえ、祝賀を —



質問 国の文化功労者に与那原町民である人間国宝の宮城能鳳さんが選出され、琉球芸能の関係者からも喜びの声が上がっている。宮城能鳳さんは「文化功労者に選ばれたことは、組踊300周年記念の節目の年に当たり、身の引き締まる思いだ」と語っている。また、組踊は琉球処分と沖縄戦の二度の危機があつたが、先師、先達が強靱な精神力で守り抜き、今日に至る沖縄の宝だとも言われている。自身の芸事の修練はもちろん、若手の育成にも尽力し、正しく継承することが使命だと述べて



いる。大変素晴らしい方だ。そこで町として、宮城能鳳さんの功績をたたえ、祝賀会なり、組踊300周年についての講演会などすべきでは。

照屋町長 これはまさに町民として、我々町の誇りであるので、能鳳先生と日程を調整したい。

組踊を上演する人間国宝の宮城能鳳さん



沖縄伝統の組踊の様子

町の臨時・非常勤等職員の処遇改善を

質問 4月以降は一般職非常勤職員制度として、会計年度任用職員制度が創設される。改正法

の趣旨は、正規職員を中心とする公務運営を基本として必要な人員の確保等を図るとともに、自治体ごとに大きく異なっている臨時・非常勤等職員の任用と労働条件については不利益が生じないよう適正化を図り、官製

ワーキングプアと揶揄される劣悪な労働条件を解消することにある。しかし、新たに整備される会計年度任用職員は非常勤と同様に、給料、手当の支給対象とする一方、短時間勤務職員には報酬、費用弁償のほか、期末手当のみの支給を想定、職員の多くが短時間勤務職員に位置づけられることが懸念される。任期を一会計年度にしているため、雇用の安定にはつながらない。又、本法改正の国による財政計画も不透明だが。

上原総務課長 この辺については議論している。財政措置がどうなるかは不透明な部分もあるが、総務大臣のほうは財政措置をすると述べている。



臨時・非常勤の労働条件の見直しを

MICEは実現できないのか!?



質問 県議会において担当部長から、MICEが実現できないという事を大変残念に思っているところであるという衝撃的な答弁があったが、町長として官民一体での跡利用の考えはあるか。

石川企画政策課長 一番目に大型MICE施設の現行計画の総点検、2番目にまちづくりの更なる具体化、3番目に事業方式の検討、4番目に財源の検討などを調査しているところである。



県が調査中のMICE予定地

学童クラブの現状と今後は



公共施設を活用した学童クラブを

質問 学童クラブの待機児童への対策は。

伊集子育て支援課長 今後、県の補助事業を活用しながら進めていきたいと考えている。

質問 今後の整備の見通しは。

伊集子育て支援課長 公共施設、公民館等の利用も視野に入れた施設整備を進めていきたい。

質問 認可外学童クラブの補助や少人数事業の施設実施など、

早急に対応できる対策の考えはないか。

伊集子育て支援課長 施設学

児童を整備する方向で施設整備を行い、利用料の低減も図っていきたく考える。

三大大綱の違いは

質問 県内には那覇大綱挽、糸満大綱引、与那原大綱曳の三大大綱があるが、「挽」「引」「曳」の違いは。

比嘉観光商工課長 那覇の大綱挽は、挽回のように力を必要とするもの、糸満の大綱引は、弓を引くように一定の距離に引き離すこと、与那原の大綱曳は、持ち上げで引くことで波が寄せる大海原で船を曳航する綱を意味する。

三大大綱の起源と伝承

那覇大綱挽

那覇大綱挽は、琉球王国時代の那覇四町綱の伝統を引き継ぐ、長い歴史を有する沖縄最大の伝統文化催事である。その発祥は、西暦1450年頃だとされる。地方の農村行事としての綱引きが、稲作のための雨乞い・五穀豊穡・御願綱を起源とするのに対し、町方(都市)の綱として、交易都市那覇を象徴する。

糸満大綱引

稲の不作と害虫に悩まされたある村の頭が、村人に対策の知恵を求めたが、これという妙案が得られず、思案のあげく自分の父に教を請けた。父の教は「田の畦で大綱を引き、太鼓を打ち鳴らし、松明を振りかざしなさい」というものだった。その父の教えに従い一夜を騒いだところ、害虫が全滅したので毎年6月(旧暦)カシテーの日には欠かさず綱を引いたとされる。

与那原大綱曳

与那原の綱曳の起源は、尚永王(1573~1588)までさかのぼるといわれている。その由来は全沖縄に琉布する。綱曳由来と同じで、次のようにつたえられている。ある年、稲が不作のうえに害虫が発生し人々は餓死寸前であった。途方にくれた村頭はアムト(堤)の下に捨てた老人に相談したところ、村民総出で鐘、太鼓を打ち鳴らし、大声をだしながら綱を曳くようにと教えてくれた。この事を聞いた王は、毎年綱を曳いて豊年祈願することを奨励し、老人を捨てる事を禁じたといわれている。

沖縄の綱引きは、豊年予祝と併せて害虫駆除の意図も含まれ伝承されてきたことが伺える。

町長権限・裁量権で使える予算は？



質問 3割自治と言われている中で、町長の政策実行予算は幾ら位あるのか。

仲里財政課長 義務的経費を除くと23億8000万円程度となる。更に維持補修、物件費、繰出金、補助費等を差し引くと実際には2億1400万円というかたちになる。

質問 事業の中でスクラップ&ビルドもあるのではないかと。

仲里財政課長 本町では、経常収支比率が90%を超え財政の硬直化が見られるので、新たな財政需要に対応するのが困難となる可能性もある、よって必要があるればスクラップ&ビルド事業の見直し、または事業の取捨選択

も入れて検討する。

質問 あと2年一括交付金があるとしてもそれに変わるものは要請していかねければならないと思うが、いつまでもあると思うなどということである。与那原町代表監査委員である岡村先生が、毎回例月検査や定期監査でも強く指摘されている。代表監査の言葉は重い、今のうちに取捨選択をする素地はつくっておかねければならない、突然は困るのである。

石川企画政策課長 監査時点、総務財政常任委員会等で非常に指摘を受けている。令和3年に切れる交付金事業、特に人件費等が多く排出される事業並びに一括交付金が始まる前の始まって新たに突った事業については基本的にゼロベースで考えていくということ。で主管課、事業課との話し合いはしている、今後さらに圧縮していきたい。



2019年5月に発行された予算書

東浜横の空き地無料開放見直しが必要では



JA東浜ファーマーズ横の駐車場

質問 JA東浜ファーマーズ横東浜107番地、空き地はこの状態のままでもいいのか。いつまで無料開放するのか。理解出来ない不合理である。見直しが必要ではないのか。

石川企画政策課長 現在周辺地域への法人へ無償で駐車場として解放しているが、迷惑駐車が目立ち支障が生じている。公社としても次年度は法人専用有料駐車場として運用を開始する予定。将来分譲も視野にいれ、町

にとつて最も有益な土地利用計画を検討する。

町内バス実証実験 運用を問う

質問 妊産婦や一歳児以下のお子さんを抱えている方も同乗できないか。

岡福祉課長 与那原町交通施策検討委員会に於ける答申により、高齢者及び障害者手帳所持者を対象とした外出支援を検討するという結論からスタートしている。今後行うアンケート調査の結果も踏まえ、対象者の拡充については検討していく余地はあると考えている。

質問 見直しをするというふうには理解してよろしいか。前向きにやっていくということであれば幸いである。仮に小中高生は除いて全町民対象という方向性が出た場合、当然主管課も変わるのか。

石川企画政策課長 将来的に全町域的な考えとなると企画政策課が主管となる。

社会福祉協議会への予算検討を



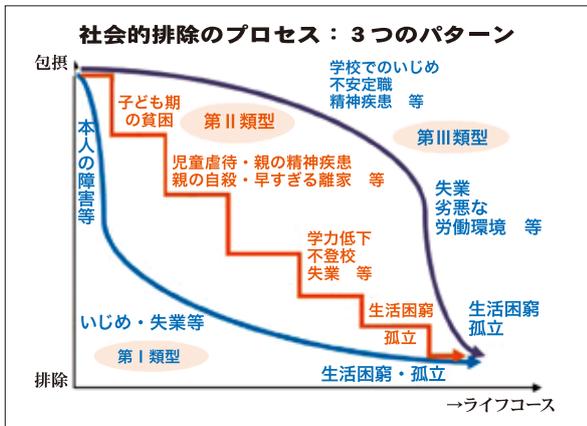
質問 社会からの孤立対策。親が子どもと向き合えるように、次の質問をする。

① 社協に委託している事業の内容、予算。
② 現状の予算で十分だと思うか。

ニーズが増えているシルバー生き生き事業について、電話業務の方が1人しかおらず、別の方がサポートをしている時もある。今の状態でこれ以上事業を増やすことが難しい。この事業はあらゆる予防策につながるの、ぜひ予算の見直しを。

岡福祉課長

① 委託事業としては
(1) 生活支援コーディネーター
(2) ふれあいサロン



(3) シルバー生き生きライフサポート事業
(4) 地域支援事業の送迎
4 事業で合計1491万8140円の委託料となっております、
② 大方の事業については現在の委託費で目的を達成することができるようになってきている。シルバー生き生き事業については、社協と相談しながら予算確保に努めていきたい。

質問 母子寡婦福祉会についても、イベント等の交通費や弁当代などの予算ウエイトが大きい。

その中で会員同士の交流、情報交換の場をつくる事ができないか検討中とのこと。これは社会からの孤立を防ぐ大事な事業である。ぜひ予算の見直しを。

伊集子育て支援課長 補助金審査会に現状報告し、申請どおりいけたらと思っております。

中小企業振興条例制定後、早めの実施を

質問 条例制定後の進捗状況及び各業種の課題を吸い上げる仕組みづくりの計画は。

比嘉観光商工課長 次年度、商工会に合わせ、共同で中小企業現況調査を実施し調査結果を踏まえて事業者が参加する「協議会」と専門の方々による「審議会」を開催する。

その他の質問

● 駆け込み寺のような受入れ施設が必要。



商工会青年部、栃木県、LRT工事視察

● 街・人・環境に優しい公共交通機関「LRT」の導入を。

社会からの孤立対策を

地域交通戦略の早急な見直しを!

— 年1回の公共交通施策検討会議開催は少ない —



質問 検討会議で「交通戦略の

具体的施策のスケジュールの見直し」「コミュニティバスと既存のバスに接続可能な時間帯の設定」「沖女短へのバス路線の早急な取り組み」の意見に対し対応を伺う。また、基幹バスの運行などで西海岸側の路線が重要視されているが、東海岸側のバス路線は国・県から注目されていない、注目を高める施策はないか。

石川企画政策課長 次回の公共交通施策検討会議へ、今年度の交通戦略の進捗状況を報告し、スケジュールや今後の取組みを協議して判断する。沖女短へのバス路線のニーズが高いことは承知しているので、バス事業者と

協議を重ねる。東海岸地域のバス路線の充実が必要と考えている。県も大型MICE施設の建設に伴い、東海岸地域の重要性は認識している。

岡福祉課長 コミュニティバスと既存バスの接続については、1月に実施する介護予防調査で町内バスについても調査する予定になつている。調査結果を踏まえて検討する。

質問 カーフリーデーなどの公共交通利用を促進するイベントの開催ができないか問う。
石川企画政策課長 カーフリーデーなどのイベントの開催は、令和3年度に予定があるので開催にこぎつきたい。

際立つ賑わいの駐車場

質問 児童・生徒の車送迎の抑制の実施状況を問う。

新里学校教育課長 安全性を確保した上で通学路を指定し、てくてく登下校を推進している。
質問 下校時にコミュニティー

センターの駐車場は、迎えの車が多く見られる。

新里学校教育課長 児童生徒が帰る時間帯コミュニティーセンターの駐車場に保護者の一部が利用している状況はよく見かけている。てくてく登下校は、歩くことにより体調管理、脳の活性化のため推進している。駐車場の使用は学校を通じて保護者に周知徹底する。



下校時間帯のコミュニティーセンターの駐車場

経済効果のあるスーパーヨット

質問 スーパーヨット施設とは、また町への効果は。
比嘉観光商工課長 スーパーヨ



大型ヨットクルーザーが停泊する与那原マリーナ

ットとは、一般的に外国人富裕層などが個人所有する全長24m以上の大型ヨットクルーザーのことである。スーパーヨットと通常ヨットの施設の違いは、通常のヨットに比べ係留する浮棧橋が大型になることである。そこで与那原マリーナの未整備エリアに、既存の浮き棧橋より大型のものを設置することで受け入れが促進される。町への効果はスーパーヨットは一度寄港すると比較的長期滞在し、滞在中に行う燃料補給や食材補給などによる支出が大きいことから、その経済効果を享受し、地域の活性化へつなげたい。

キッズゾーン設定で未就学児童の安全対策強化を!



質問 通園、通学の安全対策をどのように行っているか。

伊集子育て支援課長 幼稚園、保育所の園外活動の安全対策として目的地や経路について事前に安全確認を行い、職員間の情報を共有するとともに、緊急事例が発生した場合の連絡方法も検討するなど、安全に十分に配慮している。

質問 11月に厚生労働省からキッズゾーン設定の推進依頼が各市町村に通知されているが、本町ではどのように捉えているか。

伊集子育て支援課長 各保育園にキッズゾーンに対する意見をいただいているところである。それを受けて、改めて検討していきたい。

提言 キッズゾーンの道路標示があるだけで、運転手への注意喚起を促すことが出来る。ぜひ未就学児童の交通安全対策として、キッズゾーンの道路標示を検討してもらいたい。

キッズゾーンの概要

- 保育所、保育所型認定こども園等を中心に原則500mの範囲
- キッズゾーンの範囲の設定は市町村の福祉部局等が主体で実施
- 設定にあたっては、道路管理者、都道府県警察と協議

地域防災計画の改訂、防災マニュアル作成は

質問 地域防災計画改訂の具体的なスケジュールは。

比嘉生活環境安全課長 次年度は国土強靱化計画を策定し、令和3年度に地域防災計画の改訂を予定している。

質問 防災マニュアル・防災ブック等作成の進捗状況は。

比嘉生活環境安全課長 防災マップの作成は、今年度実施する。11月28日に公募型のプロポーザルを終え、契約に向けて進めている。

液体ミルクの備蓄と停電時の対策

質問 沖縄観光防災力強化支援事業の追加申請で液体ミルクの備蓄も検討するべきだと思いが。

比嘉生活環境安全課長 この事業は観光に関する計画であり、液体ミルクが対象となるか確認したい。一般住民の備蓄については、一括交付金で整備しているのが可能か検討したい。

質問 災害時に停電し、電力供給が途絶えた場合に威力を発揮するグリーンパワーステーションという商品がある。災害時に大いに役立つと思うが追加申請で検討できないか。

比嘉生活環境安全課長 今年度については、整備の対象外になっている。令和2年以降に該当するのか総合事務局と調整をした。環境省の補助で3分の2の補助もあるので合わせて検討していきたい。

独立電源型 NTNグリーンパワーステーション

特徴

1. 独立電源で電設工事、電気代不要
2. 市街地設置も安心な静音設計
3. 高効率発電で安定した蓄電量
4. 強風にも耐えられる安全設計

NTN グリーンパワーステーション活用法

- 有事の情報源確保の生命線～携帯電話5台の同時充電が可能
- 消費電力100W以下の一般電気製品の使用
- Wi-Fi、監視カメラ、LED防災表示、防災スピーカー等による防災・防犯機能の強化

与那原マリーナを活用したカジキ釣り大会

— マリンフェスティバルを成功させよう!! —



質問

去る6月定例会の中で提案したマリンフェスタについて、行政も立ち上がって打ち合わせしてもらいたい。大変感謝している。その中で話し合われた事を確認したい。今回のフェスティバルについては行政を中心に、町民も対象にしたイベントにしたいがどう考える。

前城政策調整監

与那原マリーナでの開催を前提とし、与那原漁協、マリーナ、行政の三者で打ち合わせを行い、初めての取り組みなので対象者をどうするのか、経費がどれほどか三者で調整を重ね、大会が開催できるよう前向きに取り組んでいきたい。

質問

話し合いの中で大会の日



※写真はイメージです

程が来年(令和2年)の5月10日の日曜日との提案がなされたがその方向でいいか。

前城政策調整監

カジキ釣り大会は時期があり、沖縄であれば4月〜7月までがシーズンで、県内の他のカジキ釣り大会と重ならず、潮を合わせると5月10日という選択肢が上がってきたので、その日程に向けて整えたいと思う。

提言

町民参加型のイベントにするにはたとえば、漁協であればマグロやセーイカの解体ショー、行政サイドイベントの実行力など三者の長けてる部分をうまく

リンクさせて、このイベントに向けて進めてもらいたい。

前城政策調整監

マグロ、セーイカがあるとかかなり興味を示して会場に足を運んでくれると思う。漁協とのつながりも町民もてると共に、マリーナに来る機会がない方々にもそこで参加していただくのも一つの町民参加と賑わいの創出になると思う。もう一つはこのイベントが自主運営できるイベントという形で育て上げていと思うので、その基本的な考えで進めたい。

イベントなどで与那原マリーナの活用を



※写真はイメージです

観光につながる まちづくり

質問

観光商工課を中心に行っているイベントもあるのでその辺の日程も調整して、合同イベントにしていくべきでは。

比嘉観光商工課長

年間を通して町内のイベントを幾つか開催しているので、合同で開催することで互いの相乗効果があると思うので検討していきたい。

与那原小学校の現在の耐震度は？

— 建て替え時期はいつになるか —



質問 建て替える耐震度の基準が4500点以下という中で、平成23年度の調査の時が5635点。当初は平成41年が建て替えの補助対象になると聞いているが、現時点での耐震度を含め、現状で建て替え時期をどう考えているか。

新里学校教育課長 平成23年から8年が経過しており、1年につき60点減算することができ、現時点でおおよそ5156点となる。4500点以下であれば補助事業による立て替えが可能となるが、全面建て替えの場合には、緩和措置もあると聞いている。緩和措置に該当するかについては、県教育庁施設課に確認が必要になるので、早急に確認していきたい。

与那古浜公園に ステージ建設を

質問 次年度からも与那大綱曳まつりを与那古浜公園で行うのであれば、こどもの国のような屋根付きステージが必要と考える。まつり会場の為に建てるのではなく、与那古浜公園は以前からマルシェやクリスマスイルミネーション点灯式、文化協会の元旦の初日の出など、細かなイベントが行われている。立派なメインステージがあれば、もつというん



沖縄子ども国のステージ

な事ができると思うが、本町の考えは。

比嘉観光商工課長 今後とも与那大綱曳まつり開催会場として与那古浜公園を継続使用するならば、長期的に捉えた場合、ステージや電気、水道設備の常設整備をすることが仮設費用を抑えることにつながり得策だと考える。本町の財政状況を考慮しながら、次年度以降、整備の順番や財源確保も含め検討していきたい。

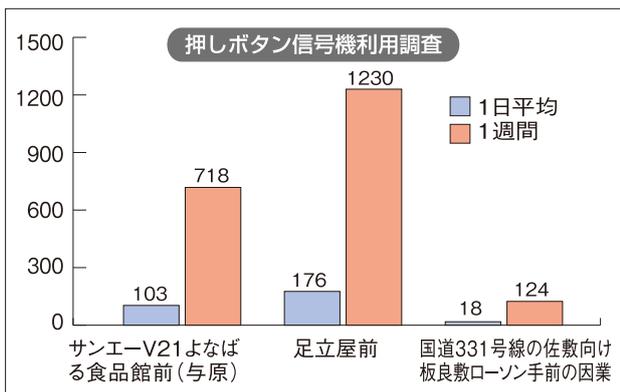
提言 やはり本町の財源が一番の問題ではあるが、逆にそこは残り2年しかない一括交付金を使用して早急に取り組んでもらいたい。

信号機移設に向けた 利用状況調査は

質問 6月の一般質問からの進捗状況は。

比嘉生活環境安全課長 沖縄県警の規制課にて調査を行い、調査地点は資料に記載されている。

る3カ所で、この調査結果をもとに信号機を設置した経緯や、区民の方々の意見も聞きながら、移設が可能なのかを協議していきたい。



その他の質問

- 地域連携帯としての今後の組織のあり方を本町はどう考えているか。
- 金武町へ二期作の蕪を視察に行つたと聞いているが、今後の考えは。

板良敷、当添間の植栽、植種を再度問う



質問 以前の議会で板良敷、当添間沿岸線植栽の件を質問した際、台風シーズン後に検討するとの答弁だったがどうなったか。

饒平名まちづくり課長

植栽は年明けの2月頃を予定している。植種についてはタコノキ、モンパノキ及び議員提案のフクギ3種の組み合わせを考えている。
質問 事業方法、予算額はどうか。

饒平名まちづくり課長

植栽の数として30本、大きさは1.5メートル、予算額は約70万円で造園業者に委託する。



台風と塩害で枯れた植栽



身障者にやさしい環境を

質問

お年寄りから階段がきつくて上がれないとの苦情がある。早急に改善すべきだ。場所は与原区地内で川の上をフタした桑江氏宅と小波津氏宅のあいなかである。

饒平名まちづくり課長

現場を確認したところ議員指摘の通りであり、次年度予算でスロープ等を併設して改善したい。



お年寄りにやさしい環境作りを(与原区区内)

質問 次年度ではなく現在予算費があり優先すべきだ。

仲里財政課長

今後の緊急時対応を踏まえ、予備費の活用ができるか検討したい。

どうなる国保財政

質問

国保加入者の負担軽減のため、一般会計から国保会計へお金を入れている。それに対し、政府は制裁を加えると市町村に通告している。これにどう対応するか。

上原健康保険課長

前期高齢者交付金の拡充を求めた国保事業の財政支援を国へ要請することや、特定健診受診率向上等で保健指導を強化し、医療費の抑制に努める。

質問 全国知事会は制裁は行うべきではないと政府に申し入れている。町長はどう捉えているか。

照屋町長

政府は国保の財源をしっかりと確保すべきであり、全国町村会でもその件は決議の中で取り上げている。

非正規労働者の待遇改善を

質問

非正規職員は何人で更新は何年か。期末手当が支給されるが国の財源措置はあるか。

上原総務課長

臨時職員77人、嘱託職員67人、賃金職員74人、全体で218人、更新は制限はなく財源は国の措置はあるものと認識している。

質問

継続性のある部所の活用は正規を検討する答弁だったが。

城間副町長

正職員の数は定員適正化計画の中で採用を進めており、人事は財政計画の基で考えなくてはならない。

与那原に眠る地下資源

— 水溶性天然ガス —



質問 本町の見解は。

前城政策調整監 与那原、西

原、中城一帯の埋蔵量が沖繩総合事務局にて発表された。採取できるガスの量が約13億5000立方メートルという想定が出ている。これは県内のガスの大手の会社である沖繩ガスが1年間に生産しているガスの量と匹敵し換算すると約200年分の埋蔵量があるということが報告されている。

質問 進捗状況は。

前城政策調整監 採取を手掛

けている業者が県内に1カ所ある。その業者から早ければ5年以内に事業を立ち上げたいという確認をしている。本町としてもガス活用の先進地である千葉県



与那原、西原、中城の地下天然ガス開発でMICE施設に活用を

たい。

前城政策調整監 町内全体や

MICE施設あるいはその他関

にも視察に行き認識を深めているところである。沖繩県内においては沖電開発が、この地下から上がってくるかん水を利用して、養殖のミーバイ(ハタ類の魚)を数年前から手掛け、成功しているという事例も視察した。

質問 本町の大きな財源になり

得る。MICE施設とリンクするような開発や構想も含め伺



連施設などに対してガス利用やガス発電による電気供給。または水素として貯めて必要時に発電する方法、または温泉として活用するなど想定される。ただ構想の中でいろいろアイデアが出てきているが、これがビジネスとして成り立つかどうか今後の課題であると考える。

与那原ブランド”赤瓦“

質問 赤瓦は本町の特産であ

る。ましてや沖繩県赤瓦事業協同組合、全5業者の内3業者が本町の会社であり、沖繩の赤瓦業界を支えていると言っても過

言ではない。新庁舎に赤瓦を使用していないのはなぜか。

仲宗根公共施設課長 現在使

用している材料としては町内で生産している赤レンガのマスプロックを内部の壁面の意匠や外部日除けのルーバーなどの活用をしている。赤瓦の活用については設計段階において考慮すべきであった。

質問 赤瓦組合から今回使用

される赤瓦は瓦製品であり瓦ではないと陳情書が上がっている。今後新庁舎に赤瓦を使用しないのか。

照屋町長 庁舎の効率性、機能

性を重視したために赤瓦に対する思料が欠けていたと思っっている。大いに反省をしているところである。今回赤瓦組合から要請のあった事項については極力全て出来る様に取り組んでいきたい。

その他の質問

● 中学生までの医療費窓口無料の進捗状況

本町の環境問題を問う



質問 京都議定書による本町の数値目標と取り組み、考えは。

比嘉生活環境安全課長

地球

温暖化問題や食品ロス、マイクロプラスチック等の問題があり、町の環境計画においてCO2削減、ごみの減量化に取り組んでいる。数値目標については、第二次与那原町地球温暖化防止計画で温室効果ガスの削減、吸収作用の保全強化の数値目標を設定し、平成30年までに平成19年度比で6パーセント削減する目標である。



地球温暖化防止を

職員のスキルアップを



質問

行政は最大のサービス産業であり、役場抜きに世の中は成り立たない。職員のレベルが高ければ高いほど行政サービスの恩恵を受ける。南部広域圏事務組合の自治体職員研修の参加状況は。

上原総務課長

自治体職員政策形成セミナーに、本町職員は

これまで23名の職員が参加し、5市4町6村の中で一番多い人数となっている。

照屋町長

南部広域研修だけでなく、市町村アカデミーや市町村職員研修であったり、積極的に職員を派遣し、研修発表の場も設けている。引き続き職員研修には積極的に取り組んで参りたい。

南斎場予約 町民からの苦情は

質問

南斎場施設の予約が取りにくいという話を聞くが、区長や町民からの苦情はないか。

比嘉生活環境安全課長

構成

市町の3市3町については、朝8時半から9時までの間優先的に予約ができるという確認をしている。また、12月から2月の間は利用者が増えて思うように予約が取れない場合があると聞いている。

信号機のない変則的T字路の対策は

質問

正面に信号機が無いのに優先権が自分にあると勘違いしているドライバーが見受けられるがその対策は。

比嘉生活環境安全課長

国道の

変則T字路について調査したところ、町道から国道への道路は、せつこ美容室前、浜田から中央通



信号機のないT字路に優先権がわかる対策を

り、私有地から国道へはEスペースパチンコ店前の道路がある。今後の対策としては、与那原警察署との連名で南部国道事務所へ要請し、路面に「生まれ」の標示、あるいは看板の設置等、対策を考えていきたい。

広報クリニック及び与那原町議会だより奨励賞受賞

1月30日(木曜日)に議会広報研修会「広報クリニック」へ参加し、各市町村の発刊している議会だよりの修正点・改善箇所を共有し、今後の与那原町議会だよりへ活かしていくため、議会広報常任委員は熱心に受講しました。

また、研修当日の新聞報道にて与那原町議会だよりが県内議会広報の中で「奨励賞」を受賞。委員からは奨励賞だけに留まらず、さらに高みを目指していくという声も上がっていた。



議長活動報告 (令和元年11月～令和2年1月)

※議長の主な日程を抜粋して掲載しております。



- | | |
|---|---|
| 11/ 1 (金)・【沖縄県町村議会
議長会長】琉球泡盛の夕べ | 11/21(木)・沖縄県都市計画審議会 事前説明(県担当来庁) |
| 11/ 2 (土)・第5回
与那原町福祉まつり | 11/26(火)・第176回 沖縄県都市計画審議会 |
| 11/ 7 (木)・令和元年第3回沖縄
県市町村総合事務組合議会臨時会 | 12/ 2(月)・沖縄県町村議会議長会 定例役員会 |
| 11/11(月)・南部地区市町村議会議長会行政視察
研修(離島振興市町村議会議長全国
大会、町村議長全国大会 含む) | 12/ 3(火)・与那原町商工会活動資金造成&
チャリティーゴルフ大会始球式 |
| 11/12(火)・【南部地区】水上バスでの東京視察
・第38回 離島振興市町村議会議長全国大会
・自民党幹部との懇談会 | 12/ 6(金)・叙勲受章者祝賀会 |
| 11/13(水)・第63回 町村議長全国大会
・【県町村議長会】臨時総会
・沖縄県町村議会議長・事務局長懇親会 | 12/ 8(日)・与那原東小学校創立40周年
(記念式典・祝賀会) |
| 11/14(木)・厚生年金への地方議会議員の加入を求める全国大会
・地方議会活性化シンポジウム2019 | 12/24(火)・秋田県大仙市議会会派視察受け入れ |
| 11/17(木)・第10回 与那原スポーツプロジェクト
来賓あいさつ | 12/25(水)・新庁舎建設工事起工式 |
| 11/19(火)・福岡県議会行政視察 | 12/26(木)・第69回 沖縄県振興審議会 |
| | 1/ 6(月)・新年祝賀会(企業向け・町民の集い) |
| | 1/ 7(火)・2020公明党沖縄県本部賀詞交歓会 |
| | 1/ 9(木)・【沖縄県町村議会議長会 会長】
全国町村議会議長会 会長との会議 |
| | 1/12(日)・町成人式 式典 |
| | 1/23(木)・福岡県みやま市議会
会派行政視察受け入れ歓迎のあいさつ |
| | 1/30(木)・和歌山県海南市議会会派
行政視察受け入れ 歓迎のあいさつ |

編集後記



議会広報常任委員会
広報委員 宮平正傳

1月から2月にかけて沖縄では桜のシーズンを迎え名護、八重岳、今帰仁城の桜まつりなどで賑わいます。

沖縄では本土のような花見の習慣はなく、開花がちょうど旧正月のころだったことから、花器に桜を差してお祝いする程度であった。やがて桜が名護城やその周辺に増え、数百人が名護城に御座を敷き、酒を飲み交わすようになったことから、1962年第1回名護桜祭りが開催されました。

与那原町では、活気あふれる魅力ある町、子供たちに明るい未来と大きな夢が持てる町にしようとして、2015年与那古浜公園等に大漁桜が植樹された。

今年はまだ蕾の状態です。開花が待ち望まれる。